

中2国語 出題のねらいと対策

1 漢字の読み書き 85.6%

ねらい：漢字の読み書きにの知識を問う。

分析と対策：(3)「蛇」のように複数の音読みをもつ漢字や、(6)「干」のように別の漢字と混同しやすい形の漢字には注意が必要です。

2 自立語・用言の活用 56.5%

ねらい：自立語の品詞、ならびに用言の活用についての基本的な知識を問う。

分析と対策：単独で文節をつることができる単語を自立語といい、そのうち活用しない品詞が5つ(名詞・連体詞・副詞・接続詞・感動詞)、活用する品詞が3つ(動詞・形容詞・形容動詞)あります。活用する品詞は、どのように活用するかがよく問われます。

3 文学的文章読解 65.0%

ねらい：登場人物の発言や様子などをもとに、場面や登場人物の心情・人物像について読み取ることができるかを問う。

分析と対策：桃と沙也子に、途中から知奈津も加わって会話が進んでいる場面で、登場人物の様子や心情、人物像を読み取ります。教室内の描写もおさえながら読み取ることが重要です。(1)は比喻を含む描写から教室の様子を読み取ります。(2)(3)は桃の発言に対する沙也子の言動を手がかりに、沙也子の様子を読み取ります。(5)は本文中の表現や会話の内容をもとに、桃について読み取ります。(6)は桃の発言から考えを読み取ります。

4 説明的文章読解 64.6%

ねらい：筆者の考えをおさえたいうえで、細部の表現にも注意して内容を理解することができるかを問う。

分析と対策：新聞の特徴を紹介したうえで、その文章のおもしろさや、教材としての価値があることを述べています。さらに、ことばを声に出すことの重要性についても説明しています。(1)(6)は新聞の文章の特徴をおさえる問いです。本文中の表現を手がかりに、具体的にどのような特徴について問われているのかをとらえて読み取りましょう。(2)(3)は新聞の特徴に読者の状況がどのように関連しているのかをおさえましょう。(4)は文章全体の内容や流れを把握して文脈をおさえたいうえで、脱文の内容からもどす場所を考えましょう。(5)は「比喩的に表現していることば」という設問の条件を的確におさえることが必要です。

5 古文読解 66.9%

ねらい：古文の基本的な知識や読解力について問う。

分析と対策：治貞卿が馬に乗らずに橋を渡ったという話です。話の流れをつかんで問題に取り組みましょう。(1)は動作主を問う問題です。古文読解の基本なのでしっかりおさえましょう。(2)(3)(4)は古文中で述べられている内容を正確におさええているかが問われています。文脈を理解し、古文中のどの部分から設問の内容について読み取れるのかをおさえましょう。

全体の平均点は66.8点です。大問別テーマのうしろの数字は、全体の大問別正答率です。個人成績表を見ながら、不得意テーマに対する今後の学習の方針を見つけましょう。